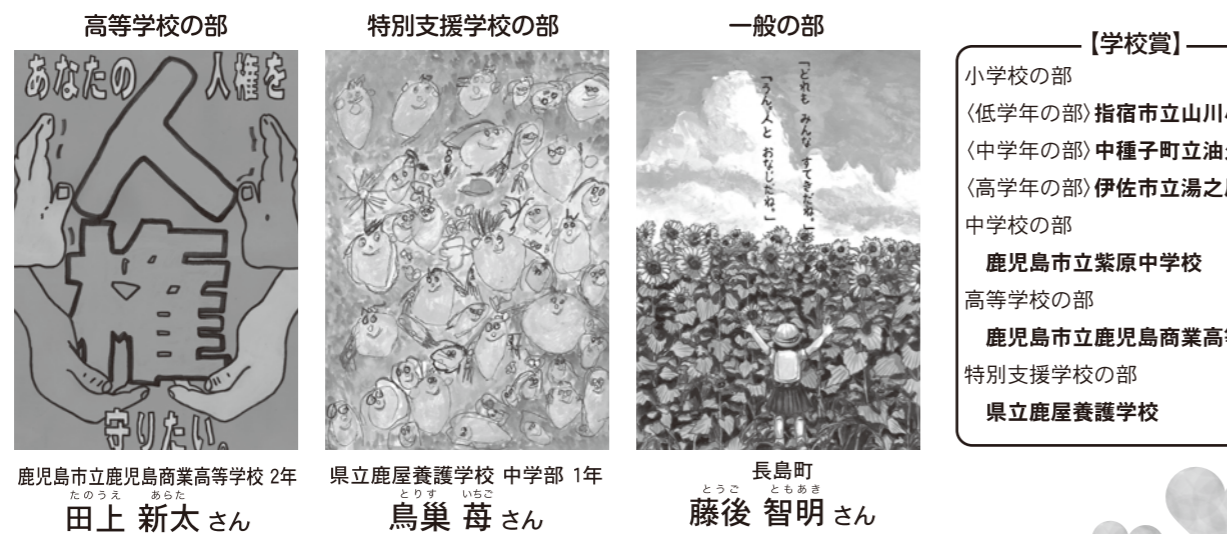
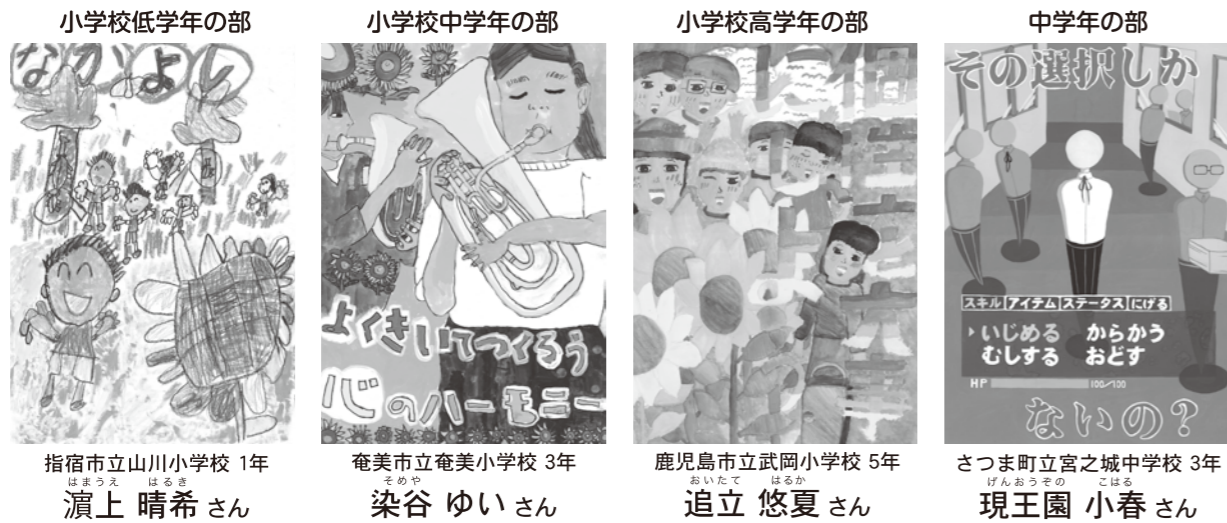


人権同和問題県民のつどい



人権に関するポスターコンクール最優秀賞 全体の部
鹿児島市立紫原中学校 3年
おばら まお
小原 麻緒さん



人権作文朗読(朗読順)

第24回 鹿児島県小学生人権作文コンテスト

■最優秀賞

- 低学年の部 『やさしさを大切に』
始良市立永原小学校 2年 唐崎 俊希さん
- 中学年の部 『お姉ちゃんといっしょに』
鹿児島市立八幡小学校 4年 池山 菜桜さん
- 高学年の部 『障がいのある弟から学んだこと』
鹿児島大学教育学部附属小学校 6年 川内 蘭菜さん

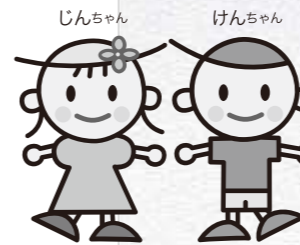
第40回 全国中学生人権作文コンテスト鹿児島県大会

■最優秀賞(鹿児島県人権擁護委員会会長賞)

- 『祖母が教えてくれたバリアフリー』
鹿児島市立緑丘中学校 3年 大久保 堅心さん

■最優秀賞(鹿児島地方法務局長賞)

- 『水の平らかさを尺度に』
鹿児島大学教育学部附属中学校 1年 土屋 凜桜さん



鹿児島県人権イメージキャラクター

日時:令和3年12月21日(火)
会場:川商ホール(鹿児島市民文化ホール第2)
開演:13時30分

主催/鹿児島県・鹿児島地方法務局・鹿児島県人権擁護委員会・鹿児島県人権啓発活動ネットワーク協議会
共催/鹿児島県教育委員会 後援/鹿児島県同和对策連絡協議会・鹿児島県人権同和問題啓発推進協議会

プログラム

PROGRAM

13:00 開 場(受 付)

13:30 オープニング
Shall we ダンス?
Tokyo渋谷ダンサーズ学院講師陣による社交ダンスショー

13:45 開会あいさつ

13:50 人権に関するポスターコンクール表彰式

14:10 人権作文朗読上映

休 憩(10分間)

14:50 人権問題講演会
演題: **ハンセン病問題の真実を語る**
講師: **豎山 勲氏** (ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会事務局長)

16:20 閉 会

MEMO欄

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

オープニング出演者

OPENING PERFORMERS



Tokyo渋谷ダンサーズ学院講師

渋谷 美徳 先生
渋谷 美和子 先生
平崎 誠 先生
切手 利江子 先生

プロフィール

元九州総局プロ選手ラテンA級・モダンB級。1985年に神奈川県秦野市に教室を開設。1993年(平成5年)8月、鹿児島に帰郷し「渋谷ダンス学院」を開設。JBDF西日本ダンス選手権大会プロラテン2位、JBDF全九州競技鹿児島大会プロラテン2位の実績を持つ。2013年(平成25年)に「Tokyo渋谷ダンサーズ学院」に社名を変更し、現在はJDSF-PD公認審判員を務めながら、山形屋2号館前にて社交ダンス教室を開校し、社交ダンスの魅力を広く鹿児島市民に伝えている。

講演者

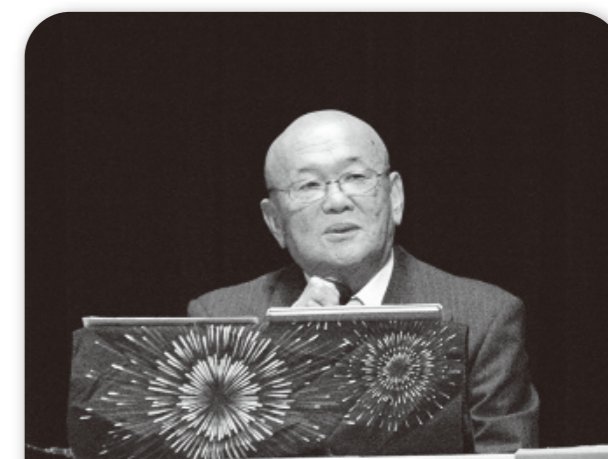
SPEAKER

ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会事務局長

豎山 勲 氏

プロフィール

昭和23年、鹿児島県伊佐市大口生まれ。13歳の時にハンセン病を発病し、国立らい療養所星塚敬愛園に強制入所。その後、岡山県のハンセン病患者のための高校に入学するも、病気のため同校を中退。それ以降は、星塚敬愛園の自治活動続ける。平成8年「らい予防法」が廃止されてからは、法廃止に関する諸問題に対し、個人として活動を始め、新聞・ラジオ・テレビなどにも、積極的に出演し、ハンセン病元患者の方々の人権回復に尽力。現在もさまざまな公職を歴任しつつ、精力的にハンセン病元患者の方々の代表として、病気への偏見と差別の払拭に取り組んでいる。



報告